教えて!医学

康ガイド

すこやか生活習慣

『健診』と『検診』の違いってなあに?

川口市立医療センター

消化器内科総合健診センター

浩史 菊池



皆さんは定期的に『けんしん』を受けていますか?職場健診、学校健診、が ん検診、歯科検診など、さまざまな『けんしん』がありますが、実は『健 診』と『検診』は異なる意味を持っています。

『健診』とは健康診断、健康診査の略称であり、健康であるかどうか、病気 の危険因子があるかどうかといった、健康状態を調べることを目的に行う ものです。例えば、平成20年に始まった特定健康診査(いわゆるメタボ健 診)、特定保健指導は、40~74歳を対象に生活習慣病のリスクを調べるも のです。なお、職場健康診断は労働安全衛生法で、学校健康診断は学校保 健法でそれぞれ実施が義務付けられています。

一方、『検診』とは特定の病気を早期に発見し、早期に治療することを目的 に行うもので、対策型検診と任意型検診に分けられます。

対策型検診は行政が主体となり行う予防対策のことで、比較的安価で受 けることができます。厚生労働省の指針では5つのがん(肺がん、乳がん、 胃がん、子宮頸がん、大腸がん)検診が勧められており、特定の疾病に対す る地域集団全体の死亡率減少を目的としています。

任意型検診は医療機関が独自に提供する検診のことで、よく聞く「人間ド ック」も、このうちの一つです。費用は医療機関ごとに異なり、原則として 全額自己負担となりますが、健康保険組合や自治体から補助金が出る場 合があります。対策型検診と同様に死亡率の減少を目的としていますが個 人に対する、より詳細な検査として検査項目が多いことが特徴です。

さまざまな『けんしん』を受けることで、病気の早期発見・早期治療につな げ、これからも皆さんが笑顔で過ごしていけるよう、年に一度はご自身の 体と向き合う時間をつくっていただければと思います。医療センター総合 健診センターでお待ちしています。

3月は自殺対策強化月間です

就職や転勤、転居など、生活環境が大きく変動し、自殺者数が増加する傾向 にある3月を「自殺対策強化月間」と定め、国、県、市町村、関係機関・団体など が連携し、自殺予防のために取り組むこととしています。市では「大切な あな たの命は 宝物」をキャッチフレーズに横断幕を駅などに掲示し、普及啓発をし ています。

3月は自殺対策強化月間です 川口市

●白殺者数の現状

令和4年中の市内の自殺者数は84人で、自殺死亡率は人口10万人あたり 13.87です。全国の自殺死亡率は17.25、埼玉県は16.94です。

▶ゲートキーパーを知っていますか? 「ゲートキーパーは命の門番」です。 ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気付き、声を掛けてあげられる人のこ とです。特別な研修や資格は必要ありません。誰でもゲートキーパーになる ことができます。周りで悩んでいる人がいたら、やさしく声を掛けてあげて ください。

気づき … 眠れていない、口数が少なくなったなど家族や仲間の変化に気付く

悩んでいる人への声掛けの仕方に迷ったら…

「どうしたの?」、「何か悩んでいるの?」などと声を掛ける

本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける(まずは話せる環境づくりから) 心配していることを伝え、真剣な態度で聞く

でもある。

父ともに植木職人で

な体験でした」と語る。

健康度や危険度を診断

必

細やかな観察や触診などで

鈴木さんが樹木医の存在を

と寝食を共に語り合えたこと

る傍ら、

樹木医として、

樹

木

世界が広がるような貴重

貢献している植木職人の鈴

克典さんは「木のお医者さん_

0 つなぎ … 早めに専門家に相談するよう促す

見守り … 温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」

パソコンやスマートフォン・携帯電話からいつでも簡単に心の 健康状態をチェックできます。また相談窓口も案内しています。



間疾病対策課 🖍 048-423-6748 🕅 048-423-8852

植木職人を目指すのは自然な 背中を見て育った鈴木さんが 熱心に植木と向き合う2人の

都の造園業者の下で修行.

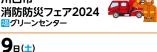
大学卒業後の約3年半、

イベントスケジュール

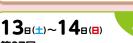
2_{B(±)}~3_{B(B)} 第63回川口市花の文化展 場イオンモール川口前川



3_{□(□)} 川口市 消防防災フェア2024 易グリーンセンター



第66回川口市 明るい街づくり運動推進大会



第97回 春の安行花植木まつり 場川口緑化センタ-









製作責任者を務めることに ダで開催された平成14年の国 を立てるのだが、 国が提示したイメージを庭園 際園芸博覧会「フロリアード」 着けた腕が認められ、 り前にやること、 植木職人としての技術を磨い 合わせに四苦八苦…日々熟老 として実現するため植栽計画 ことの大切さを学びました_ た。「当たり前のことを当た 、の出展では植栽設計と庭園 修行やその後の仕事で身に 手をかける オラン

決めた。 い形で健 輩の適切なアドバイスもさる んは、 資格だ。 できたのは、 猛勉強し、 が目に焼きついていた鈴木さ に植えられている街路樹の姿 びと広い間隔で剪定もされず 林業」 いがあったから。 難易度の高い試験を突破 樹木医を目指すことを の考えから生まれた 仕事と並行しながら オランダで、 平成16年に 樹木への熱い思 家族の支えや先 死在は植 伸び伸 一発合

や不要な部分などを剪定する こと。樹木医は、 知ったのはそれから少し後の 植木」とは違い、 康な樹木を育てる 枯れた部分 自然に近 す。

園や庭など、 その信念は、 てていきたいです」と語る。 を感じさせず健康な樹木を育 定が必要になることもありま が出たり、ぶつかり合うと剪 間隔がどうしても近くなって 間にある樹木は、 つの顔をもつ鈴木さん。 断し治療する樹木医、その2 かすためにどうすべきかを診 要な治療を行っている。 ぐ懸け橋となる。 中でもできる限りストレス 自然ではないのですが、 まうため、 植木職人と、 生きている木で美を生み 樹木にとってそれは本当 人が生活する空 人と自然をつな 成長にばらつき 木を健康に生 樹木同士の 公公 そ

植木」。その発展・振興に .口が誇る伝統産業「安行

植木職人・樹木医

、と自然の懸け橋となる 鈴ず 克典さん

を重ねた。

